



この一般質問の映像はこちらから

観光振興について



齋藤 則人

質問

観光庁長官講演を踏まえた取組は

町 情報を共有し国と連携を図る

問 今後は観光庁と、どのような連携を図っていくのか。

答 地元と意見を集約し、情報を的確に捉え、考え方・進め方の歩調を合わせていく。

問 観光振興上、DMO^{※1}推進について、どのように考えているか。

答 食材の地産地消、地域の人材雇用をすることにより、経済が活性化される。その総合的な戦略を練るために、DMOは非常に有効であると考え、研究を進めていく。

※1 DMO
地域と協同で観光地域作りを行う法人



観光庁長官講演の様子(令和元年10月18日)

問 観光客のさらなる安全確保のため、湯本地内の歩道整備は。

答 歩道があればさらに安全の確保が図れるが、公図が不明確で現状の境界とズレが生じている。このことを踏まえ、今秋から大田原土木事務所、国の関係省庁と協議を開始した。

渋滞対策について

質問

奥那須地域の渋滞対策は

町 検討組織をつくり構想を練る

問 奥那須地域の路上駐車等による渋滞対応は。

答 紅葉シーズンの土、日曜は警備員を配置し適正誘導と、路上駐車を防ぐ取り組みを行っている。抜本的な解消には至っていないが、実施前と比較して格段に改善している。

問 県道の整備、駐車場の整備など今後のインフラ整備は。

答 国・県等が関わり、方向性の集約にかなり時間を要するエリアとなり、今後、多くの関係機関と十分に連携しながら研究していく必要があると考えている。



インフラ整備が求められる大丸駐車場

問 観光振興の観点から、将来の再開発構想が必要では。

答 新しい計画が必要な時期。検討組織をつくり、構想を練っていく必要があると考えている。